

公益社団法人愛知県医師会 第10回(定例)理事会議事録

開催日時：平成30年6月21日(木) 午後2時30分～午後4時40分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／城 義 政 杉 田 洋 一

理事／伊藤 健一 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗 檜尾 富二

樋口 俊寛 瀨瀨 雅明 細川 秀一 野田 正治 林 義久

浅井 清和 湯澤由紀夫 田那村 收 小出 詠子 渡邊 源市

監事／川上 雅正 野口 良樹 横井 隆

代議員会議長／服部 達哉

代議員会副議長／山本 楯 伊藤 宣夫

欠席者

副会長(代表理事)／市川 朝洋

議事録作成者 黒田 将 貴

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①名古屋骨を守る会(会長 鈴木敦詞：藤田保健衛生大学内分泌代謝内科教授)主催の第31回名古屋骨を守る会講演会〔8/19(日)〕の後援について

②NPO法人愛知県難病団体連合会(理事長 下前君夫)主催の「愛知県難病団体連合会第46回大会」〔9/17(月・祝)〕の後援並びに本会役員の臨席・メッセージの依頼について

③名古屋大学医学部医学科・医学部附属病院、名古屋大学医師会主催の平成30年度名古

屋大学鶴舞公開講座〔12/8(土)〕の後援について

榎尾理事より説明され、上記 1-(1)-①～③について一括承認を求め、承認された。

(2)一般社団法人愛知県病院協会(会長 浦田士郎)主催の地域医療構想講演会〔7/8(日)〕の後援について

榎尾理事より説明され、承認された。

(3)公益財団法人神経研究所(理事長 加藤進昌)主催の秋の「すいみんの日」東海地区市民公開講座 2018〔9/1(土)〕の後援について

榎尾理事より説明され、承認された。

(4)公益社団法人愛知県臨床検査技師会(会長 相山広美)並びに一般社団法人日本臨床衛生検査技師会(会長 宮島喜文)主催の「多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会」〔10/27(土)・28(日)〕の後援について

榎尾理事より説明され、承認された。

(5)愛知県歯科医師会倫理委員会委員の推薦について

榎尾理事より説明され、伊藤理事を推薦することが承認された。

(6)愛知県薬事審議会委員の推薦について

榎尾理事より説明され、浅井理事を推薦することが承認された。

(7)独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付審査専門委員会委員の推薦について

榎尾理事より説明され、小野田卓男先生の辞任に伴い、後任として森川圭造先生を推薦することが承認された。

(8)中部医師会連合特別委員会委員の選任について

榎尾理事より説明され、「社会保険特別委員会」には杉田副会長、加藤理事、大輪理事を、「介護保険特別委員会」には城副会長、野田理事、林理事を、「広域災害・救急医療特別委員会」には杉田副会長、細川理事、瀬瀬理事を選任することが承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下の No. 1 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	7/26(木)	認知症地域医療研修事業 認知症対応病院実地指導事前説明会	6階研修室	野田理事 林理事

3. 個人情報取扱に関する覚書(案)について

榎尾理事より説明され、個人情報を取り扱う業務を委託する業者と本会との間において、標記の覚書を締結することが承認された。

4. 地域総合功労に係る都道府県知事推薦について

榎尾理事より説明され、加藤寿彦先生(80歳・名古屋市医師会)を推薦することが承認された。

5. 公衆衛生関係功労者に対する知事表彰について

榎尾理事より説明され、下記7名を候補者として推薦することが承認された。

村山 憲先生(70歳・岡崎市医師会)、松岡 宏先生(70歳・豊田加茂医師会)、後藤雅子先生(68歳・小牧市医師会)、大西正純先生(65歳・愛知県小児科医会)、浅田義正先生(63歳・愛知県産婦人科医会)、齋藤隆司先生(62歳・春日井市医師会)、佐々木俊也先生(58歳・豊川市医師会)

6. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

榎尾理事より説明され、愛知県産婦人科医会より推薦のあった加藤紀子先生(昭和区)を候補者として推薦することが承認された。

7. 臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状贈呈候補者の推薦について

榎尾理事より説明され、愛知腎臓財団より推薦のあった小林孝彰先生(愛知医科大学)を候補者として推薦することが承認された。

8. 日本医師会最高優功賞受賞候補者の推薦について

榎尾理事より説明され、柳 務先生(82歳・名古屋市医師会)を推薦することが承認された。

9. 「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」候補者の推薦について

榎尾理事より説明され、継続審議となった。

10. 広報賞規程(案)について

額額理事より説明され、標記規程内の賞の対象となる事項として、電子書籍に掲載された論文、記事も対象となることを追加することが承認された。

11. 平成30年度救急医療功労者の愛知県知事表彰候補者の推薦について

細川理事より説明され、下記の通り、個人12名団体5機関を推薦することが承認された。

個人 12 名

伊佐治文朗(名古屋市)、舘 敏雄(名古屋市)、永田二郎(一宮市)、日比野清康(瀬戸旭)、小池明朗(春日井市)、飯塚直樹(豊橋市)、大谷亨(豊川市)、伊藤直史(豊田加茂)、細井延行(県病院協会)、浦田士郎(県病院協会) 竹内昭憲(尾北)、浅岡峰雄(岡崎市)

団体 5 機関

笠寺病院(名古屋市)、スカイル内科(名古屋市)、尾西記念病院(一宮市)、さくら総合病院(尾北)、蒲郡市民病院(蒲郡市) (敬称略)

1 2. 平成 30 年度愛知県・津島市総合防災訓練 [8/26(日)] について

細川理事より説明され、今年度より防災啓発として、JMAT(日本医師会災害医療チーム)活動のパネル展示、愛知県医師会無線システム等通信機器の展示、愛知県医師会救急医療情報システムデモ体験、保健相談を実施することが承認された。

—協議事項—

1 3. 愛知県医師会参与の委嘱について

樫尾理事より説明され、今期より新たに本会参与として可世木成明先生を委嘱することが承認された。

1 4. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日医第2回医事法関係検討委員会〔6/13(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、医療の不確実性から医療行為におけるすべての過失ある行為を刑事免責することは難しいというのが委員全体の方向性ではあったが、不確実性と善意に基づいて行われる行為であるということを厚生労働省の検討委員会に申し上げることを、横倉会長に答申として提出したことが報告された。

2. 日本医師会理事会〔6/19(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、理事打合会にて後発医薬品の普及について協議されたことが報告され、理事会にて米国海軍病院船の東京寄港に係るセミナーについて報告があったと説明された。

3. 日医第8回医業税制検討委員会〔6/14(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、答申及び平成31年度税制要望について議論したことが報告された。また、焦点であった控除対象外消費税の問題に関する進捗については、委員会の場では明らかにされなかったと説明された。

4. 都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会(TV会議)

〔6/15(金)〕について

(日本医師会主催：804会議室)

額額理事より、角田委員長の公衆衛生委員会での答申にはじまり、日本健康会議事務局長の渡辺俊介氏より「経済団体・医療団体・保険者などの民間組織や自治体が連携し、職場・地域で具体的な対応策を実現していくことが必要」との日本健康会議の重要性について説明があったと報告された。また、その後、既に実践している宮城県・静岡県・高知県から具体的な話があり、最後に今村聡副会長から今後全国各県・各地区で実践してほしい旨のまとめがあったと報告された。

【本会関係会議について】

5. 第3回愛知県医師会地域医療政策研究機構〔6/18(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

伊藤理事より、都道府県医療政策研修会について報告がなされ、また、都道府県単位の地域医療構想調整会議、地域医療構想アドバイザー、病床機能報告の見直し、有床診療所の施設基準と介護医療院への転換について協議を行ったことが報告された。

6. 調査室委員会 [6/12(火)] について

(5 階医師連盟会議室)

大輪理事より、調査室だより 2 本について協議し、愛知医報 8 月 15 日発行号に掲載することが決定したこと。また、第 8 回社会保障制度改革推進会議[5/28(月)]、第 8 回経済財政諮問会議 [6/5(火)]、医療機関等における消費税負担、その他、MEDIFAX、Twitter 記事について解説、議論を行ったことが報告された。

7. 治験審査会 [6/15(金)] について

(6 階研修室)

樋口理事より、新規審査 1 件(潰瘍性大腸炎 1 件)及び継続審査 5 件(クローン病 1 件、潰瘍性大腸炎 2 件、統合失調症 2 件)についてすべて承認され、また、終了報告(統合失調症 1 件)が行われたことが報告された。

8. 学校保健部会学校健診委員会 [6/12(火)] について

(6 階研修室)

額額理事より、心電図精度管理調査解析検討会で精度管理調査を行うサンプリング対象校を報告し、学校保健健診懇談会の講師及び学校保健シンポジウムのテーマ等について検討したことが報告された。また、全国学校保健・学校医大会について愛知県内医師の演題を報告し、東海学校保健学会、日本学校保健学会の演題募集について協力依頼したことが説明された。報告事項では、関係会議等について報告があったと話された。

9. 広報委員会 [6/13(水)] について

(501 会議室)

額額理事より、愛知医報のトップ掲載予定や表紙掲載写真等について検討され、会員から投稿された原稿の掲載については、全て掲載することとなったと説明された。また、今年度においても「新春特集号」を発刊することを決定し、「愛知医報」広告掲載規約の見直しを行ったと報告された。

10. 医療安全対策委員会 [6/12(火)] について

(9 階大講堂)

浅井理事より、平成30年6月分委員会提出案件について新規21件、解決7件の計28件について検討したと報告された。

11. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記の No. 1~3 の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	6/10(日)	第9回 災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	160名	細川理事 瀬瀬理事
2	6/13(水)	産業医研修会(職場巡視)	17名	西山理事 樫尾理事
3	6/18(月)	産業医研修会	142名	西山理事 樫尾理事

【行政、その他関係団体等会議について】

1 2. 東海北陸地方社会保険医療協議会総会〔6/12(火)〕について

(東海北陸厚生局主催：ホテルサンルートプラザ名古屋)

城副会長より、富山部会の臨時委員の指名について承認されたことが報告された。また、保険医の登録取消について協議となり、取消となったことが報告された。

1 3. 支払基金幹事会〔6/13(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

城副会長より、診療報酬等債権譲渡、差押等処理状況について、愛知県では医科35医療機関が月平均7億5千万円であったと説明され、オンラインによる再審査請求について愛知県は69.5%で(全国計73.4%)、平成30年3月分の前審査は281万件(5.2%増)、52億1万点(4.8%増)であったと報告された。

1 4. 愛知県健康推進学校候補校実地審査〔6/15(金)〕について

(愛知県教育委員会主催：岩倉市立曾野小学校)

城副会長より、愛知県健康推進学校候補校への表彰のための審査にて来校し、公開授業を見て、帳簿の確認、指導講評を行ったと報告された。

1 5. 平成30年度愛知県訪問看護ステーション協議会通常総会〔6/2(土)〕について

(愛知県訪問看護ステーション協議会主催：名古屋市立大学病院大ホール)

大輪理事より、平成29年度事業報告、決算報告及び監査報告、平成30年度事業計画、収支予算報告が行われ、役員の辞任及び選任について、原案のとおり承認されたと報告された。

1 6. 愛知県医療勤務環境改善支援センター第1回運営協議会〔6/11(月)〕について

(愛知県主催：801会議室)

大輪理事より、平成30年度事業計画(案)についてはアドバイザー派遣月1~2科程度、セミナー年6回実施予定との説明がなされ、センター長(労災指定医協会会長)の支援センターでの役割についても説明があったと報告された。また、労務管理チェックリストの活用法、セミナーの知名度アップについて検討したことが報

告された。愛知県からは運営協議会の開催回数について、3回より2回としてはとの意見があったことが話された。

17. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第2回運営委員会〔6/13(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務所)

細川理事より、運営メンバーについて、定款の一部変更について、NPO あいち内における学校保健事業における活動計画について、機関誌「ほすぴいお」について、滋賀県大津市特定健康診査事業の委託についてそれぞれ協議したことが報告された。

【その他事項について】

18. 国家戦略特区薬剤遠隔指導事業について

大輪理事より、標記事業について愛知県、兵庫県養父市、福岡市にて特区として実施されることになり、特区内の薬局の薬剤師は特区内の一定の地域（特定区域）に居住する者に対し、遠隔診療が行われた場合に対面ではなく、テレビ電話等を活用した服薬指導が可能になると説明された。また、愛知県内の特定区域としては離島振興法に基づく離島振興対策実施地域とあいち山村ビジョン2020に基づく三河山間地域とされたことが説明された。

19. その他

—話題提供—

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成30年6月21日